



101

編集 知道会広報委員会
〒310-0011 水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
発行人 稲葉節生
発行日 令和4年10月1日
通巻 第101号
HP www.chidokai.jp
メール chidokai_mito@chidokai.jp



〈目次〉

稲葉知道会会長インタビュー	
知道会の財産は人	1
令和4年会員の集いのお知らせ	2
第71期第48回代議員会	3
一高だより	4
地域・職域等知道会	6

稲葉節生知道会会長に聞く 知道会の財産は人。そして多様性 卒業生の多様性と生命力を、いまの生徒たちに伝えたい



稲葉節生知道会会長

お互いの存在を確かめ合う 「会員の集い」

高校を卒業した18歳から知道会の会員です。教員として社会人になってからはもちろん、リタイア後も含めて60年間、知道会に関わってきました。若い時は、まわりの会員は先輩ばかりで、そのお話や意見を聞けばかりでしたが、40歳を過ぎ、やっと自分の意見を伝えられるようになりました。いま78歳ですが、さまざまな世代と積極的に関わり、お話を傾聴しようと心がけています。自分の話や昔話を長々とすることは極力戒めて。年寄りな年を取った分だけ過去が長いし、喋っているうちに思い出してくるので(笑)、なおさらね。

会員の集い、特に懇親会は、お互いの情報交換の場、もっと言うと、

お互いの存在を確かめ合う——そういう場であるのがよいと思っています。一方的に自分の話をするのはちょっと抑えて、いろいろな人、異なる世代と積極的に接する機会としましょう。新しい世界が見られますよ。そういう体験が、若くても年を取っても、きっと楽しいんだよ。

前回、前々回の集いは、コロナ感染症を考慮して、懇親会は無し、講演会もオンライン(一部リアル)でした。ですから、会長としての私にとっては、今回の集いが会員のみならずと広く直接お会いできる、はじめての機会でもあります。

知道会の役割とは なんだろう？

附属中学校が開校して2年目のいま、水戸一高は大きな変化の時です。

中学から入学した生徒が6年間という安定した環境の中で勉強できるということは、進学校としてはいろいろな意味でとても有利になると思います。

ただ、私として懸念するところがないわけではありません。

進学校といっても「東大〇人、京大〇人合格」だけというのは、ちょっと違うんじゃないか。もちろん今の先生方や生徒たちがそうだと知っているわけではありませんが、そうした尺度に学校全体の価値判断が依ってしまうかもしれない。そのことについては心配してもよいのではないのでしょうか。

私が教員をしていた時、ほんとうにいろいろな生徒がいました。勉強はそうでもなかったけれど(笑)、なんていうのか、生々しいというか荒々しいというか、生き生きしてる子が多かった。そんな人たちが、いま社会で自分の能力をわっと咲かせ、活躍しています。

知道会の財産は人です。会員一人一人の多様性と全体の厚みです。

会員にはさまざまな分野の専門家がいますので、例えば、学校で高1の「社会人インタビュー」に講

※次ページに続く

今年の「会員の集い」は11月12日(土)水戸京成ホテルで開催いたします



前回（2019年）会員の集い懇親会の様子

師をお願いするとなっても、外のどこから探してくる必要はまったくありません。知道会のネットワークで間に合ってしまう。

卒業生たちの持つ多様性、個性、活力、生命力を、いまの生徒たちに伝えていきたい。それが水戸一高にとっての知道会の存在意義だと思います。もしかしたら進学中心の価値観に偏ってしまうかもしれない。でも、それを多様多彩な

ただ、長く関わってきたからこそ、生徒も卒業生もどちらもよく知っている。それも含めて、知道会をいまの水戸一高に大いに役立ててほしいと思います。

みんなで盛り上げましょう！

少子化に加え、中高一貫校であることによる高校卒業生徒数の減少は、知道会会員数の減少に直結します。それを食い止めるのは難

しいけれど、知道会の豊かさや厚みはなんとか維持していきたい。みなさんの知恵と力を結集しましょう。

そのためにはまず、魅力ある知道会にしたい。集いたくなる会員の集いにしたい。

心の底からそう思っています。集いに参加した人がみな、この次も来たいと思えるものにするために、いっしょに盛り上げていきましょう。

【インタビュー・写真／平井夏樹（昭56卒）、平井佐知子（昭56卒）】



令和4年 知道会会員の集い

- 期 日** 令和4年11月12日(土)
場 所 水戸京成ホテル2階「瑠璃の間」
日 程 12:30 受付開始
 13:00～13:45 代議員会
 13:50～14:10 グローバルリーダープログラム研修報告（参加生徒による）
 14:15～15:05 講演会
 ①磯前昌宏氏（平成3年卒）
 「生き残れるのか？遠洋マグロ漁業」
 ②高野友晴氏（平成3年卒）withねば～る君
 「地元茨城・水戸に支えられて創る、古くて新しい納豆の世界」
 15:25～17:15 懇親会

●今回も無料の託児サービスを予定しています。お申し込みなど詳細は知道会HPをご覧ください。

参加費 5,000円 ※事前の参加費振込が必要です
 （ただし卒業6年目＝平成30年3月卒業までは参加費は無料にしています）

こちらからも申し込みできます▶



会員の集い開催にあたっての注意事項

「会員の集い」への参加にあたっては、皆様の感染防止のため、政府などから示されているルールに基づき、以下の点にご協力ください。

- ・食事中以外は必ずマスクを着用してください。
- ・大声での会話はしないでください。
- ・こまめに手指の消毒をお願いします。
- ・当日に発熱や喉の痛みを含め体調不良の方は来場をお控えください。

また、今後の感染拡大動向によっては会員の集いの中止または予定変更の可能性があります。その場合には11月4日までに知道会ホームページ上でお知らせします。ご来場の前に必ずご確認ください。



磯前昌宏（いそまえ まさひろ）

講演1 「生き残れるのか？遠洋マグロ漁業」

プロフィール&ひとこと

1972（昭和47）年8月生まれ。ひたちなか（旧那珂湊）市出身。1991（平成3）年水戸一高卒。駒澤大学卒業。神奈川県三浦市三崎の魚市場勤務を経て、遠洋マグロ漁船を所有運営する家業の（株）磯前漁業所へ。2019年から三浦市三崎の住吉漁業（株）の社長、2020年から那珂湊漁業協同組合組合長を兼務。世界の海を漁場にマグロを追いか、全盛期には全国で約1,400隻、

茨城県内には那珂湊・大洗地区を中心に約60隻あったと言われる日本の遠洋マグロ漁船ですが、現在では全国で約140隻、県内では第21磯前丸1隻に減少。魚価の低下、漁獲量の減少等様々な理由がありますが、今は未曾有の労務問題に直面しています。

国内ではこれまでに色々な種類の漁業が灯を消してきました。生き残れるのか遠洋マグロ漁業？一緒に考えて頂けたら幸いです。



高野友晴 (たかの ともはる)

講演2 「地元茨城・水戸に支えられて創る、古くて新しい納豆の世界」

プロフィール&ひとこと

平成3年水戸一高卒。早稲田大学大学院理工学研究科卒業。NTT、ソニー等にて13年間エンジニアとしてソフトウェア開発等行う。平成22年水戸に戻り、家業であるだるま食品(株)入社。令和2年より代表取締役を務める。茨城県納豆商工業協同組合 専務理事兼水戸支部長。かつて水戸に10社以上あった納豆製造会社も、現在は4社のみ。そ

のうちの1社として、地元の方に支えられながら名産品である水戸納豆を作り続けています。他では聞けない納豆に関することや海外の納豆市場、そして過去、現在、これからの地元との取り組み等楽しめるお話をしたいと思います。講演最後には、納豆の妖精「ねば〜る君」と一緒に今後の納豆業界についても語りたと思います。



三森千愛 (みつもり ちあき)

懇親会 会員の集い懇親会「ミニコンサート」

◇内容◇

水戸一高卒で、ミュージカル女優の三森千愛さんがステージに登場。ピアノの生演奏と共にミュージカルナンバーをお届けするほか、年代別ヒットソングを今回特別に披露する。懐かしさと共に、情感あふれる彼女の歌声をお楽しみください。

◇出演者プロフィール◇

水戸市出身。平成13年水戸一高卒。日本大学芸術学部、舞台芸術学院、ニューヨークへの短期留学など

を経て劇団四季へ入団。「ライオンキング」に出演。劇団四季退団後、「レ・ミゼラブル」「ミス・サイゴン」「メリー・ポピンズ」、その他「Violet」「プリシラ」など多数のミュージカルに、主要キャストとして出演。

「ねば〜る君と
納豆お兄さん」も
懇親会に来るよ!



“平成3年卒” 学年同窓会を開催します

卒業して早32年、50歳の節目の年!!
学年同窓会を開催します!!

多くの同窓生のご参加、お待ちしております!! (14時から地元で活躍する同期の社長おふたりによる講演あり。総会から是非参加願います!!)

日時 令和4年11月12日(土)
18時30分から

場所 水戸京成ホテル

申込方法

QRコードを読み取り、Googleフォームからお申し込みください。

お問い合わせ

chidokai.h3@gmail.com

※詳細はGoogleフォームで案内あり。



平成13年卒 学年同窓会を開催します

卒業から22年。40歳の幹事学年を迎えました。

会員の集い終了後、恩師の先生方をお招きして学年同窓会を開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

日時 令和4年11月12日(土)
18時30分から

場所 水戸京成ホテル

会費 6,000円(当日受付にて)

申込方法

QRコードからGoogleフォームにてお申し込みください。

お問い合わせ

chidokai13@gmail.com



平成23年卒業の皆さま~同窓会のご案内~

皆さまお久しぶりです、お元気でしょうか。水戸一高を卒業して早12年。今年は10年に1度の同窓会が開かれる年です。

多くの卒業生のご参加を幹事一同心よりお待ちしております。

日時 令和4年11月12日(土) 18時30分から
場所 水戸京成ホテル
〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1丁目4-73
TEL: 029-226-3111

会費 6,000円(当日受付にて)

申込方法

QRコードを読み取り、10月19日(水)までにGoogleフォームにてご報告ください。また、不参加の方も10年後以降の同窓会に向けて情報を入力していただくと幸いです。

<https://forms.gle/ukWY4NarHHUDvSbi7>

お問い合わせ

tidoukaih23kanji@gmail.com



第71期第48回代議員会

日時 令和4年5月14日(土)

場所 知道会館2F会議室

(1) 第71期事業中間報告として委員会活動と事業、母校助成協力事業および学年・地域・職域知道会の活動状況が河野幹事長から報告

され、了承されました。

(2) 第71期収支中間報告について出澤財務委員長から報告され、了承されました。

(3) 140周年記念事業ならびに収支報告について河野幹事長より報告され、了承されました。

(4) 報告事項として会員名簿(令和

5年版)の今後の発行スケジュール、現段階で検討されている記載内容、発行方法等につき河野幹事長から報告されました。

(5) 役員改選に伴う指名委員会の設置につき河野幹事長から報告されました。

硬式野球部 第104回全国高等学校野球 選手権茨城大会出場

1 回戦 対波崎高校 4 - 1

2 回戦 対つくば秀英

(A シード・春準優勝) 1 - 2

昨年ベスト8で涙を吞んだ先輩たちの思いを胸に、悲願の甲子園出場を目指して戦いましたが、力及ばず2回戦敗退となりました。しかしながら、3年ぶりの全校応援の後押しを受けてAシード校を相手に一步も引かずに戦い、最終回もあわや逆転の状況まで追い詰めました。来年こそは「私立に勝って、甲子園」を実現すべく、心・技・体の鍛錬を積み重ねてまいります。



1 回戦



2 回戦応援席

山岳部 (男子) 令和4年度全国高等学校 総合体育大会登山大会 (香川インターハイ) 出場

8月5日～9日に香川県まんのう町において行われた令和4年度全国高等学校総合体育大会登山大会に、山岳部が男子団体部門で出場をした。コロナ禍における大会ということで今年の大会は昨年同様に幕営でなく宿舎泊をとる異例な開催となった。制限下でも競技は体力や歩行技術だけでなく、設営等も審査される。さらに、救急・気象・自然観察や地図読解の知識までも審査対象である。3日間の山行と開会式後のペーパーテストによって100点満点で点数付けが行われ順位が決まる。出場

選手はリーダー植田竜哉 (37)、原崇之 (37)、池田広人 (25)、大槻颯太 (27) の4名。大会は夏の日差しが照りつける最中に行われたが、本校山岳部選手は熱中症の魔の手ものともせず、練習通りの成果を出してくれた。結果は95.7点の第20位という結果に終わった。全員インターハイ初参加であることを考慮すると、まずまずの結果であろう。

今大会には3年生2名、2年生2名という構成で望んだ。来年の北海道大会では、今年の経験を生かし上位進出が期待できそうである。

剣道部 全国高等学校剣道大会茨城県 予選会 (インターハイ県予選 女子個人の部) 第5位入賞

6月26日に行われた全国高等学校剣道大会茨城県予選会の女子個人の部において、石原実佳 (31) が第5位に入賞した。3回戦は、関東大会の出場校でもあり、前の週の団体戦で準優勝した茗溪学園の選手で、上段の構えを得意とする強敵だ。3回目の延長を迎えた直後、堂々たる面で勝負を決めた。準々決勝では水戸葵陵の選手に小手を先取しながらも逆転を喫し、惜しくも四強入りは逃したが、剣道の激戦区・茨城県での第5位は快挙だ。



剣道部集合写真

美術部 第46回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門 出品参加

本川すずな (33)、木下隆之介 (35) が、茨城県代表として、油絵作品をそれぞれ出品しました。昨年10月に水戸地区鑑別会にて、約230点の作品の中から上位2点が茨城県代表として選ばれました。12月から今回の展覧会に向けての制作を始め、

今年のGWに完成した作品が、東京都美術館に展示されました。8月1日、2日に浅草公会堂、都立上野高校にておこなわれた開会イベント、交流会に参加し、また全国レベルの作品を鑑賞し、今後につながる大変貴重な経験となりました。



本川すずなさん



木下隆之介さん

放送部 第69回NHK杯全国高校放送 コンテスト(7/27～7/28) 準決勝進出

茨城県代表としてアナウンス部門に出場した堀野朝日香 (21) が茨城県勢で唯一準決勝に進出しました。全国レベルを肌で感じ今後のレベルアップにつながる貴重な経験となりました。



決勝会場のNHKホール前にて

放送部 第46回全国高等学校総合 文化祭放送部門(8/3～8/4) 参加

川野真歩 (36)、堀野朝日香 (21) が茨城県代表として朗読部門に参加

しました。この大会をもって引退となる川野は「伝える気持ちをもって読むことができました。悔いはありません。」と話していました。



会場前にて(左 堀野さん、右 川野さん)

軟式野球部 令和4年度全国高等学校 総合体育大会茨城県大会 出場

令和4年7月、美浦村にある光と風の丘公園野球場にて夏の大会1回戦が行われました。相手は水城高校で、先制されるも4回に7点を取るなどして逆転し、一時は8点をリードしましたが、最後は力尽き、14-19で敗れました。唯一の3年生であるキャプテンの江幡直晟(36)が先発し、3年間の集大成となる試

合で、相手から三振を奪うなど最高のプレーを見せてくれました。応援ありがとうございました。

水戸一 000 720 500 |14

水城 001 025 92X |19



軟式野球部員集合写真

3年生の梅木さん(34)が主演 Kバレエ ユース 第5回記念公演『ドン・キホーテ』

令和4年7月30日(土)の東京、Bunkamura オーチャードホールにて、熊川哲也氏が総監督を務めるK-BALLET YOUTH(以下、Kバレエ ユース)の第5回記念公演『ドン・キホーテ』が上演された。その主演キトリ役を務めたのが水戸一高第3学年の梅木那央さんである。

平成25年創設のKバレエ ユースは、リハーサルから本番まで、全過程をプロと同等の環境で行う次世代育成プロジェクトである。その第5回公演を記念して、初の全国オーディションが令和3年に開催された。

梅木さんがオーディションに挑戦したのは、自身のステップアップのためだという。幼少期、ピアノの演奏に合わせて自宅で踊っていた彼女は3歳でバレエに出会い、バレリーナになるという目標を胸に、高校入学後も全国規模のバレエコンクールで優勝を果たしている。近年はバレエ教室を離れ、公演に向けて定期的に行われるリハーサルの内容をもとに、自身で練習を重ねてきたそうだ。

演目の『ドン・キホーテ』は華やかな踊りや高度なテクニックを要求される古典作品である。舞台は灼熱のスペイン。田舎町に暮らす老紳士ドン・キホーテは、中世



Kバレエ ユース『ドン・キホーテ』第1幕より



梅木那央さん

の騎士道物語に読みふけり、夢想と現実の区別がつかなくなっている。港町の旅籠の娘キトリは、理髪師のバジルと恋人同士だが、キトリの父はそれを快く思っていない。キトリとバジルの目の前に、憧れのドルシニア姫を探し求めるドン・キホーテが現れる――。

梅木さんの演じるキトリは全幕を通して、パートナーのバジルと共に観客を魅了した。このプロジェクトを通じて最も成長したダンサーは彼女に違いない。そう思わせるほどにキトリの存在感は大きかった。

全幕バレエ作品には、踊りのテクニックと、作品への理解力やそ

れを伝える表現力、自分自身と徹底的に向き合う精神力が求められる。舞台上の表情多彩なキトリは、授業中に真剣な眼差しを見せる彼女の、その真剣さによって生み出されたエネルギーなキャラクターなのである。

水戸一高のパティオで、ダンス同好会の一員として踊っていた彼女は、大舞台の幕が降りるまで成長し続けた。知道会の皆様におかれましては、ここから新たな舞台に向かって走り出す彼女へのあたたかなご声援を、心よりお願い申し上げます。

藤枝咲絵

(平23卒・水戸一高書道教諭)

オーディションから10ヶ月、熊川総監督や先生方にご指導頂き、主役を踊らせて頂きました。学校との両立は大変でしたが、友達や先生方の応援もあり全力でやり切れました。プロの夢を目指してこれからも頑張ります。

梅木那央

撮影:言美 歩 ©Ayumu Gombi

みつば知道会

みつば知道会は、水戸市立双葉台小・上中妻小学区内に居住する知道会員の集まり。知道会本部や水戸知道会と連携を図りながら、総会の他年3回の懇親会、年2回のカラオケ会、水戸ホーリーホック応援観戦などを企画。しかし、コロナ禍で2年間は活動を中止。その分、地域への貢献活動として、地元水戸済生会病院へ寄付活動を実施。

5月15日に双葉台市民センターで、3年ぶりに総会を開催。知道会幹事長・河野秀幸様、水戸一高校長・高村祐一様はじめ、桜山・水戸南部知道会からも来賓を迎えて、25名が集合。活動報告及び古平恒夫会長（昭37卒）の留任を承認。久しぶりに顔を合わせた会員も多数。

総会後、元水戸市立第四中学校副校長・木村正光氏（昭50卒）による、「海外日本人学校に赴任して」という講演会。インドネシアでの人々の生活の様子や、教育の現状を、映像を交えて分かりやすく披露。

副会長 坂場安男（昭46卒）



水戸下市知道会

令和2年度、3年度と新型コロナ蔓延により総会開催を見合わせており、このままでは当会の存亡にかかわるとの危機感が募るばかりでした。三年連続での中止は何としても避けたい、との思いから、総会議事、講演会、飲食なしの懇話会として、今年度5月28日に会員17名の参加を得て、浜田町「魚兼」での総会開催に至りました。

講師には、世界各国に多くの人脈を持ち文字通り世界を股にかけて活躍されている藤田幸久氏（昭44卒）をお招きしました。講演ではロシア・

ウクライナ情勢の深層を、世に知られていない（或いは故意に伏せられた）情報を基に解き明かし、我が国のコロナ対策や災害支援等活動の欠点を世界の常識に照らして明確に指摘くださいました。

また、ご参加いただいた木村成文様（昭31卒）から当会幟旗を寄贈いただき、記念撮影では卒業生の心に脈々と引き継がれる『水高魂』を添えての集合写真になりました。

閉会后、魚兼特製折詰料理が配られ、帰宅後、舌鼓を打ちながら総会の余韻に浸る充実した一日でした。

小坪真司（昭54卒）



石岡知道会

コロナ禍により開催延期を余儀なくされていましたが6月26日（日）、市内の稲吉屋にて22名が出席して開催することが出来ました。久しぶりに会った皆さんの笑い声が会場のあちこちから聞こえ、総会は始まりました。

本総会には稲葉節生知道会会長のご出席を頂き、手塚克彦石岡知道会元会長（昭38卒）の開会挨拶に続き、物故者への黙祷をいたしました。この三年間で三名の会員が鬼籍に入り寂しい限りです。菊地武雄石岡知道会会長（昭38卒）挨拶には稲葉知道会会長への謝意、多くの会員の皆様と会えた喜び、御礼を述べました。稲葉会長様のご挨拶には母校の大きな変革があったこと、中高一貫校の併設、歩く会等々が含まれているため、改めて懇親会にてお話し頂くことにいたしました。役員交代の件では新会長に山本進氏（昭42卒）が満場一致で承認されました。乾杯の御発声は唯一の水中卒（昭22卒）佐久良就様が元気に努めました。今年は三名の新会員に参加頂きましたが会発展の為にも新会員の参加に尽

力したいと思います。

石岡知道会幹事 山口普一（昭39卒）



鹿行知道会

7月23日（土）、3年ぶりに鹿行知道会例会を執り行いましたことを報告致します。新型コロナ感染拡大第7波を受け、直前まで予断を許さない状況でしたが、「3年連続の中止は会の存続に関わる」という思いのもと、恒例の会場であるサンロード鹿島さんにご協力頂き全席をアクリル板で仕切るなど、可能な限り感染対策を行い開催に至ったことは、今後の試金石となりました。鹿行地区（鹿嶋市、神栖市、潮来市、銚田市、行方市）の会員203名に案内状をお送りし、94名からのご返信と、最終的に11名のご参加を賜りました。例会当日は知道会本部より河野秀幸幹事長をお迎えし、知道会、水戸一高、そして附属中についての近況を伺った後、全員がスピーチを行い近況を確かめました。最後に、母校創立130周年記念CD収録の第一校歌をバックに、着座・マスク着用という出で立ちながら昨今のあらゆる憂いを吹き飛ばす心意気を以て校歌斉唱を行い、会を締め括りました。

工藤仁一（平5卒）

茨城県庁知道会

新型コロナ第6波の感染拡大が落ち着いた去る6月21日（火）、感染対策を講じた三の丸ホテルで茨城県庁知道会が3年ぶりに開催されました。稲葉節生知道会会長、高村祐一水戸一高校長にもご臨席いただき、出席約90名を得て和やかな交流の集いとなりました。

当日は、特別顧問である大瀧愛一郎茨城県議会議員（昭55卒）、遠藤実茨城県議会議員（昭60卒）、来賓からの挨拶、令和4年3月に勇退され

た玉川明前政策企画部長(昭55卒)、堀江英夫前防災・危機管理部長(昭55卒)、橘川栄作前営業戦略部長(昭56卒)の紹介などの後懇親へ。

後半には、名誉顧問である大井川和彦茨城県知事(昭58卒)も出席され、会場のあちこちで、所属や年代を超えた会員相互の交流が生まれるなど、活発な話の輪が広がりました。最後は恒例の校歌斉唱等に代え第一校歌と第二校歌のCDに耳を傾け、小森正彦県警ときわ知道会会長代理(昭58卒)の中締めで盛会のうちに

散会となりました。

会員数542名の職域同窓会として、3年ぶりに一堂に会し、改めて母校と地域への貢献を誓う日となりました。

会長 飯塚博之(昭56卒)



日本野球の聖地・名所150選に認定

2022年7月、野球伝来150年記念事業として、日本野球機構・全日本野球協会により、「日本野球の聖地・名所150選」に、水戸一高が認定されました。全国の認定地を巡るスタンプラリーも開催されています。詳細は「野球伝来150年特設サイト」をご参照ください。

<https://japanesebaseball150th.jp>

Person～ PRODUCTIVE AGING～高橋徳正先生の歩行の記録

恩師高橋徳正先生(元 緑岡高校校長)は86歳。今も旧街道を歩く旅を続けている。先生の旅は歩行ということである(ほぎょうと読むそうだ)。その思いは、歩行は一種の行だということ。先生の歩行の歴史は、自らの一高時代(1952-54)の歩く会にさかのぼる。さらにその後の一高教員時代(1963-79)の毎年の歩く会と山岳部生徒との登山。そして50代半ばから始めた旧街道の旅と続く。

1992年から12年かけて奥の細道(奥州街道)を完歩。その後日光街道、中山道、東海道、甲州街道を順次踏破されていった。

2015年秋、この江戸五街道制覇の偉業を同級生有志と一緒に歩いてお祝いしようということになり諏訪宿にゴールした。(写真中央高橋先生) これでもう歩行はやめられるのかと思ったら、その後も水戸街道を完歩され、現在は岩城(いわき)相馬街道を北へ進んでおられるとのことである。

ただ歩くのではなく、街道に詰まった歴史を徹底的に事前調査し、新たな発見・出会いを通じて思索を深められ、冊子にまとめておられる。歩くことを繰り返すことで見えてくるのは自分自身のこと。そして戦争により苦難を強いられた母への鎮魂と平和への思いである。若い時のまま変わらず歩み続けておられる恩師の歩行の姿に、歩く会を経験している我々OBは多くの刺激を受けるのである。

(昭50卒37組 今瀬 肇)



令和5年版 会員名簿発行のお知らせ

このたび、令和5年版知道会会員名簿を発行する運びとなりました。

今回の名簿発行にあたっては検討の結果、迷惑電話などの防止の観点から電話番号については自宅、勤務先とも調査のみ行い、名簿への掲載はしないことにいたしました。

「安全」「正確」なデータ管理のため、発行に関する業務を全国で同窓会を総合的にサポートしている専門会社(株)サラトに委託しています。今後同社より確認はがきや名簿購入の案内を発送して作業を進めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- 名簿発行日: 令和5年7月下旬
- 体裁: A4版(約1,000頁)
- 名簿価格: 4,700円(送料・税込)

名簿作成委託先

株式会社サラト(兵庫県姫路市)のホームページ

<https://salat.co.jp>

書籍紹介

「スピノザ 人間の自由の哲学」

吉田量彦(平元卒) 著
講談社 2022年
1,200円(税込)

スピノザ
人間の自由の哲学
吉田量彦



スピノザの入門書として書かれた本書。最初の方で生い立ちに重点を置き、徐々に思想・哲学へと話題がシフトしていく。スピノザと言えば「エチカ」が有名だが、その話題に偏りすぎず、「神学・政治論」についても詳しく取り上げている。また、その後に書かれた「政治論(国家論)」へと思想が展開していく様子もよく分かる内容となっている。本書の表紙からとっつきにくさを感じてしまう方もいるかも(?)が、非常に読みやすく入門書としてもぜひおすすめしたい。

総務委員会

総務委員会は令和4年会員の集い企画、実施にあたり、集い実行委員会を総務委員とH3年卒、H13年卒、H23年卒の幹事学年のメンバーで5月から月1回、知道会館にて開催しております。会員の集いについては、コロナ禍の影響で令和2年から中止としている懇親会を3年ぶりに開催できるよう、実行委員会一丸となって準備を進めているところです。詳細につきましては本号の記事をご覧ください。また、随時知道会ホームページにて最新情報を掲載していきます。

今年こそは会員の集いにて多くの笑顔と笑い声であふれる懇親会を開催し、11月12日水戸の地で、たくさんの会員の皆様と交流できることを楽しみにしております。

親睦委員会

知道会「会員の集いゴルフ会」

11月、水戸京成ホテルで開催される「知道会会員の集い」の翌日に、卒業年を超えた同窓ラウンドを楽しみませんか？表彰などもなく、初心者の方でも気軽に参加できる会にします。

皆さまのご参加をお待ちしております。

期 日：令和4年11月13日（日）

場 所：桜の宮ゴルフ倶楽部

茨城県笠間市小原2811（電話：0296-77-1155）

集合時間：8時20分（パター練習グリーン集合）

スタート：9:12（西スタート）⇒午後南コース（5組）

9:12（南スタート）⇒午後東コース（5組）

プレー費：12,000円

（セルフ・昼食・ワンドリンク付）

申し込みはこちら▶



年会費の払込みには従来の郵便振替、銀行振込、自動引落とし、コンビニ払いに加えて、前回からはスマホ決済もご利用頂けるようになり、益々便利になっております。スマホ決済は、会費の払込取扱票（郵便振替用紙）の通信欄に記載のバーコードを決済アプリで読み込むことでお支払いを進めて頂けます。払込取扱票が付いている会報が届いている方は是非一度お試しください。

自動引落としも引き続き絶賛受付中です。次年度から自動振替をご希望の方は、今年度分の年会費払込みの際に払込用紙の通信欄に「自動振替希望」とご記入頂くか、お電話にて事務局（TEL 029-226-3960）にご連絡下さい。

財務委員会では、払込み方法の多様化を含めて更なる利便性向上の検討を進めて参ります。

名簿委員会

2023年名簿発行に向けて：名簿については従前より「株式会社サルト」さんに作成及び記載情報についての確認ハガキ作成・発送を依頼しております。今般その形式についての打ち合わせも終わり、2022年10月27日頃に会員の皆様に名簿発行のお知らせとともに調査ハガキを送付する運びとなっております。名簿自体については、2023年7月末を目安として発行を予定しております。知道会事務局のご協力をいただきながら、個人情報保護に最大の留意をしつつ、会員の皆様にとってもより有用かつかつの青春の日々を思い起こせるような名簿になるよう、名簿委員会一同尽力していく所存です。皆様には調査ハガキへのご回答並びに広告掲載につき御協力いただけますようお願い申し上げます。

～次号から5月発行号はWeb版になります～

知道会報は春（5月）と秋（10月）の年2回発行しておりますが、令和5年から春の発行号はWebでご覧いただく形に変わります。知道会ホームページからご覧ください。なお、昭和39年卒以前の会員の皆様には、従来通り郵送させていただきます。10月の秋号につきましては今後も会員全員に郵送いたします。

財務委員会

知道会年会費で母校支援！

知道会の年会費は、本会の運営費のみならず母校支援にも使われております。皆様の年会費が後輩の学校生活の一助になる、素敵なことですね。母校支援のためお忘れなく年会費の払込みをお願い致します。

物 故 者（R 4. 4～R 4. 8迄にご連絡を頂いた方を掲載しました。）

昭14中 澤 昌 孝成	昭25高 矢数 圭堂	昭29高 永井 吉人	昭35高 秋山 仁一
昭14中 山野井 晃	昭25高 石崎(小沼)武男	昭29高 角田 新一	昭35高 長岡 忠義
昭14中 横田 一郎	昭25高 名越 省吾	昭29高 山本 博之	昭38高 川上 邦利
昭18中 島田 甲司	昭26高 柴田(樫村)脩	昭32高 大貫 光明	昭39高 室伏 信俊
昭20中⑤安(薄井)重一	昭26高 中林 仁	昭32高 石井 宏幸	昭40高 板橋 義則
昭20中⑤菅谷 元之	昭26高 根本 忠治	昭32高 佐田 直行	昭40高 瀬谷 実
昭20中⑤竹内 守	昭26高 佐々島貞夫	昭33高 渡辺 允尚	昭41高 皆藤 孝
昭20中④柳原 克宏	昭26高 市村 尚	昭33高 小島 淳	昭43高 山田(秋葉)美子
昭22中 関 孝雄	昭28高 菊池 英男	昭33高 佐久間雄一	昭46通 飯村 稔雄
昭23中 菊池 恒雄	昭28高 渡辺 健	昭34高 西野 秀雄	昭48高 荘司 信一
昭23中 堀野 福雄	昭28高 江頭 英義	昭34高 長谷川秀信	昭52高 川又 義雄
昭25高 篠原 一郎	昭28高 大串 明	昭35高 佐藤 紘志	昭56高 荒川 匠
昭25高 檜山 和	昭29高 堀川 計三	昭35高 塩畑 英侑	昭61高 横場 哲夫

「知道会報」第1号から第100号まで会報の印刷を担当いただいた板橋印刷株式会社 代表取締役 板橋義則様（昭40卒）が本年5月に逝去されました。第100号記念号の完成を見届けてのご逝去でした。平成26年まで財務委員としても活動下さいました板橋様のこれまでのご尽力に深く感謝を申し上げるとともに、心よりお悔やみを申し上げます。 広報委員会

学校基本データ

学校創立	1878年(明治11年) 10月2日
令和4年	創立144年
同窓会員数	39,451名
住所判明者数	21,091名
在籍生徒数	高校 846名(男子489名 女子357名)
	中学 160名(男子 80名 女子 80名)
	(令和4年8月現在)